

令和3年度

健康長寿おきなわ復活推進本部会

日時：令和3年11月22日（月）

14：00～15：00

場所：県庁6階 第1、第2特別会議室

司会：健康長寿課健康推進班長

本部長（議長）玉城 デニー知事
知事公室 比嘉 奈緒子秘書課長
総務部 茂太 強 総務統括監
企画部 松永 享 企画振興統括監
環境部 普天間 朝好環境企画統括監
子ども生活福祉部 座安 治生活企画統括監
保健医療部 糸数 公医療技監兼保健衛生統括監
農林水産部 新城 和久農林水産総務課長
商工労働部 友利 公子産業雇用統括監
文化観光スポーツ部 高宮城 邦子スポーツ振興課長
土木建築部 金城 真喜子土木企画統括監
教育庁 半嶺 満教育指導統括監

1. 開会

2. 本部長挨拶（玉城デニー知事挨拶）

3. 報告

（1）健康長寿おきなわ復活推進本部版ロードマップの令和2年度目標達成状況等について
（事務局概要説明・各部局長報告）

（2）令和3年度県民の健康づくりに資する社会環境整備（県事業）について
（事務局説明）

（3）各部等における事業化(拡充含む)を検討する主なテーマに係る新規取組・事業等について
（総務部・環境部・保健医療部・文化観光スポーツ部部局長報告）

4. 意見等

（玉城デニー本部長）

保健医療部の報告について1点確認させてください。

「沖縄県の働き盛り世代に係る健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定」を締結したということで、健康長寿おきなわの復活に貢献することを目的に連携して取り組む項目が挙げられています。

この中で、上から4ポツ目。

「適切な血圧を管理する地域職場づくり」。

適切な血圧管理をすることについて、具体的に取る方法、お互いの情報の共有、取り組むことによって血圧が改善され、それが、健康の維持、増進に繋がったというような具体的な事例や今後、具体的な取り組み等を行う予定があるのでしょうか。

(糸数保健衛生統括監)

ただいまの適切な血圧を管理する地域職場づくり、この構成団体の中に沖縄県医師会というのがございまして、沖縄県の平均寿命の順位が下がっている要因の一つとして、若い人、65歳未満で亡くなる方の割合が他の県より高い。

主な原因は、血圧に関連する心疾患とか脳出血などが十分に管理されないまま、急に発症するということが、問題点として、沖縄県医師会の方はかなり問題意識を持っておりました。

どこでも、特に職場などで血圧が図れるような環境づくりという提案もしております。

一つは医師会の方が今考えていることは、モデル地区を一つ設定をして、その市町村に、地域、或いは職場でも、血圧を図れるような環境整備を行って、その結果をフォローしていこうということを今計画をしております。

医師会が中心となって、コロナ前ですけども、何度か協議をした中に県も入っておりますので、引き続き、実際のモデル地区での方法などについて、これから検討していきたいと思っております。

血圧の方は、地域の血圧全体を下げることで、そういう合併症が減るっていうエビデンスがすでにございますので、それについても、住民の方にしっかり働きかけ、そして職場でもそういう場所が増えることを目指して、協力して取り組んでいきたい。

(玉城デニー本部長)

具体的にそのようなエビデンスに基づいた、効果が発現するというのであれば、ぜひそれぞれの職場、我々は県庁職員ですから、県庁それぞれの部局或いは外部出先機関等とも連携しながら、まさしくその適切な血圧管理をすることによって健康な職場づくりを推進するという点についても、是非、部局横断的に、取り組んでいただければと思います。

(玉城デニー本部長)

本日は以上となります各部におかれましては、健康長寿の復活を目指して、引き続き取り組みを推進していただくようよろしくお願いいたします。

【配布資料】

会次第

資料1：健康長寿おきなわ復活県推進本部版ロードマップ令和2年度目標達成状況一覧

資料2：令和3年度県民の健康づくりに資する社会環境整備（県事業）

資料3：各部等における事業化(拡充含む)を検討する主なテーマに係る新規取組・事業等一覧

資料4：健康長寿おきなわ復活推進本部設置要綱等資料

令和3年度

健康長寿おきなわ復活推進本部会

日時：令和3年11月22日（月）
14：00～15：00
場所：県庁6階 第2特別会議室
司会：健康長寿課健康推進班長

1. 開会

2. 本部長挨拶

3. 議 事

(1) 健康長寿おきなわ復活推進本部版ロードマップの令和2年度目標達成状況等について
(事務局概要説明・各部局長報告)

(2) 令和3年度県民の健康づくりに資する社会環境整備（県事業）について
(事務局説明)

(3) 各部等における事業化(拡充含む)を検討する主なテーマに係る新規取組・事業等について
(総務部・環境部・保健医療部・文化観光スポーツ部部局長報告)

4. 閉会

【配布資料】

会次第

資料1：健康長寿おきなわ復活県推進本部版ロードマップ令和2年度目標達成状況一覧

資料2：令和3年度県民の健康づくりに資する社会環境整備（県事業）

資料3：各部等における事業化(拡充含む)を検討する主なテーマに係る新規取組・事業等一覧

資料4：健康長寿おきなわ復活推進本部設置要綱等資料

健康長寿おきなわ復活 県推進本部版ロードマップ 令和2年度 目標達成状況一覧

| 施策 | 目 標 | 基準値 | 目 標 値 | R3照会 | |
|-------------------------------|--|--|---|--|---|
| ① 運動しやすい 日常環境づくり | 成人の1日あたりの歩数 | 男性 6,906歩 女性 5,934歩 (H23年度) | 男性 9,000歩 女性 8,500歩 (R4年度) | 男性 6,261歩 女性 5,901歩 (H28年度) | |
| | 運動習慣のある者(成人)の割合 | 男性 43.8% 女性 34.0% (H23年度) | 男性 54% 女性 44% (R4年度) | 男性 45.2% 女性 32.5% (H28年度) | |
| | 取 組 | 取組指標 | 基準値 | 目 標 値 | 現状値 (確認がとれる直近の 年度) |
| | (1) 歩きやすい環境の整備 | 歩いていける身近な都市(街区) 公園箇所数 | 3.2箇所/100ha (H22年度) | 3.3箇所/100ha (R4年度) | 3.2箇所/100ha (R元年度) |
| | | 運動等の目的で利用できる都市公園 (運動公園、総合公園等)の面積 (1人あたり) | 6.0㎡ (H22年度) | 6.5㎡ (R4年度) | 6.2㎡ (R元年度) |
| | (2) 公共交通機関の利用 促進 | 乗合バス利用者数 | 26,097千人/年 (H25年度) | 増加 (R4年度) | 26,034千人/年 (R元年度) |
| | | モノレールの乗客数 | 35,551人/日 (H22年度) | 増加 (R4年度) | 30,044人/日 (R2年度) |
| (3) 日常的に体を動かす 機会の提供 | スポーツ実施率(成人、週1回以上) | 39.0% (H24年度) | 65.0% (R4年度) | 58.5% (R1年度) | |
| | 運動等の目的で利用できる都市公園 (運動公園、総合公園等)の面積 (1人あたり) | 6.0㎡ (H22年度) | 6.5㎡ (R4年度) | 6.2㎡ (R元年度) | |
| 施策 | 目 標 | 基準値 | 目 標 値 | 現状値 (確認がとれる直近の 年度) | |
| ② 栄養バランスの よい食事 | 野菜摂取量 | 282.6g (H23年度) | 350g以上 (R4年度) | 272.2g (H28年度) | |
| | 果物摂取量 | 63.2g (H23年度) | 130g (R4年度) | 76.3g (H28年度) | |
| | 取 組 | 取組指標 | 基準値 | 目 標 値 | 現状値 (確認がとれる直近の 年度) |
| | (1) 県産農林水産物の 生産・流通の促進 | 野菜の生産量 | 54,800トン (H24年度) | 92,900トン (R4年度) | 52,387トン (H31年度) |
| | | 果樹の生産量 | 10,800トン (H24年度) | 20,500トン (R3年度) | 13,006トン (H31年度) |
| | | 「おきなわ食材の店」登録店舗数 | 208店 (H26年度) | 350店 (R4年度) | 324店 (R2年度) |
| | (2) 食生活の改善の促進 | 栄養情報提供店の登録数 | 67店舗 (H23年度) | 150店舗 (R4年度) | 90店舗 (R2年度) |
| 朝食欠食率 | | 20代男性: 31.1% 30代男性: 35.0% (H23年度) | 20代男性: 20% 30代男性: 20% (R4年度) | 20代男性: 31.3% 30代男性: 31.8% (H28年度) | |
| 施策 | 目 標 | 基準値 | 目 標 値 | 現状値 (確認がとれる直近の 年度) | |
| ③ 一人ひとりの 健康管理の支援 | 特定健診の受診率 | 41.9% (H22年度) | 増加 (R4年度) | 52.2% (R1年度) | |
| | 成人肥満率 | 男性(20-60代): 46.3% 女性(40-60代): 37.5% (H23年度) | 男性: 25.0% 女性: 25.0% (R4年度) | 男性(20-60代): 39.9% 女性(40-60代): 29.8% (H28年度) | |
| | 取 組 | 取組指標 | 基準値 | 目 標 値 | 現状値 (確認がとれる直近の 年度) |
| | (1) 食や健康に関する教材 や情報の提供 | 朝食欠食率 | 20代男性: 31.1% 30代男性: 35.0% (H23年度) | 20代男性: 20% 30代男性: 20% (R4年度) | 男性(20-60代): 39.9% 女性(40-60代): 29.8% (H28年度) |
| | | チャージングおきなわ応援団 参加団体数 | 57団体 (H22年度) | 120団体 (R4年度) | 111団体 (R2年) |
| | (2) 高齢者の生きがいづく りや社会参加の促進 | 介護認定を受けていない 高齢者の割合 | 81.9% (H23年度) | 82% (R4年度) | 82.2% (R2年) |
| | | (3) 死亡事故対策、自殺や 生活習慣病予防対策 (タバコ・アルコール 等) | 自殺死亡率(人口10万人当たり) | 25.5 (H22年度) | 減少 (R4年度) |
| | 24時間交通事故死亡者数 | | 39人 (H27年度) | 減少 (R4年度) | 36人 (H31年) |
| 県職員の喫煙者数の減少 | 男性: 524人(18.2%) 女性: 35人(2.6%) 全体: 559人(13.2%) (H26年度) | | 男性: 360人又は13%(約30%減) 女性: 14人又は1%(半減以下) 全体: 9% (約30%減) (R4年度) | 男性: 441人(13.6%) 女性: 84人(3.7%) 全体: 526人(9.5%) (R2年度) | |
| 施策 | 目 標 | 基準値 | 目 標 値 | 現状値 (確認がとれる直近の 年度) | |
| ④ 部局横断的に 連携推進して いく施策 | 県有施設の敷地内完全禁煙施設数 | R3設定 | 増加 (R4年度) | — | |
| | 取 組 | 取組指標 | 基準値 | 目 標 値 | |
| | 県有施設における受動 喫煙防止対策の推進 | 県有施設の敷地内完全禁煙施設数 | R3設定 | 増加 (R4年度) | — |

再掲

再掲

健康長寿おきなわ復活県推進本部版ロードマップ 令和2年度の取組確認

| | | | |
|-----------------|--|-----------------------------------|----------------------------------|
| 施策 | 1 運動しやすい日常環境づくり | | |
| 施策内容 | 運動しやすい日常環境づくりにおいては、日常的に運動に取り組む県民の増加を目的として、歩きやすい環境の整備、公共交通機関の利用促進、日常的に体を動かす場所や機会の提供に取り組みます。 | | |
| 施策指標 | 基準値 | 実績値（見込み）が確認できる直近の年度 | 目標値 |
| 成人の1日あたりの歩数 | 男性 6,906歩 女性 5,934歩 (H23年度) | 男性 6,261歩 女性 5,901歩 (H28年度) | 男性 9,000歩 女性 8,500歩 (R4年度) |
| 運動習慣のある者（成人）の割合 | 男性 43.8% 女性 34.0% (H23年度) | 男性 45.2% 女性 32.5% (H28年度) | 男性 54% 女性 44% (R4年度) |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|--|---|---|---|--------------|--------------|--|
| 取組 | (1) 歩きやすい環境の整備 | | | | | | | | |
| 取組内容 | 道路、公園、海岸等の木陰の創出や歩道の整備、日常空間におけるウォーキング、ランニング環境化支援を行い、歩きやすい環境を整備します。 | | | | | | | | |
| 年度別計画 主な取組 | 2015 (H27) | 2016 (H28) | 2017 (H29) | 2018 (H30) | 2019 (R1) | 2020 (R2) | 2021 (R3) | 2022 (R4) | |
| 道路、公園等の木陰の創出 (土木建築部 道路街路課 都市公園課) | 道路:4路線の街路整備・その他路線の整備、道路植栽 公園:12箇所(街区公園)整備 | | | | | | | | |
| | ○道路(浦添西原線等45路線) ○街路(豊見城中央線等24路線) ○公園(山下町第一洞穴遺跡公園等3箇所) | ○道路(浦添西原線等45路線) ○街路(豊見城中央線等24路線) ○公園(末吉公園等4箇所) | ○道路(浦添西原線等39路線) ○街路(豊見城中央線等26路線) ○公園(町端公園等12箇所) | ○道路(浦添西原線等39路線) ○街路(豊見城中央線等25路線) ○公園 | ○道路(浦添西原線等38路線) ○街路(豊見城中央線等25路線) | ○道路(浦添西原線等39路線) ○街路(豊見城中央線等26路線) ○公園(羽佐間公園等9箇所) | | | |
| 道路、公園、海岸等の歩道の整備① (土木建築部 道路街路課 都市公園課 道路管理課 海岸防災課) | 道路:4路線の街路整備・その他路線の整備、23路線の歩道整備 公園:総合公園、運動公園等の整備 | | | | | | | | |
| | ○道路(浦添西原線等45路線) ○街路(豊見城中央線等24路線) ○公園(末吉公園等14箇所) ○歩道(国道449号等23路線) ○海岸(北谷町宮城海岸等約0.4km) | ○道路(浦添西原線等45路線) ○街路(豊見城中央線等24路線) ○公園(末吉公園等14箇所) ○歩道(国道449号等23路線) ○海岸(中城湾港海岸豊原地区等約0.7km) | ○道路(浦添西原線等39路線) ○街路(豊見城中央線等26路線) ○公園(黄金森公園等) ○歩道(国道449号等23路線) ○海岸(中城湾港海岸豊原地区等約0.3km) | ○道路(浦添西原線等39路線) ○街路(豊見城中央線等25路線) ○公園(黄金森公園等) ○歩道(県道12号線等20路線) ○海岸(中城湾港海岸豊原地区約0.3km) | ○道路(浦添西原線等38路線) ○街路(豊見城中央線等25路線) ○公園(黄金森公園等) ○歩道(県道12号線等26路線) ○海岸(中城湾港海岸豊原地区約0.2km) | ○道路(浦添西原線等39路線) ○街路(豊見城中央線等26路線) ○歩道(具志川環状線等20路線) ○公園(黄金森公園等) ○海岸(中城湾港海岸豊原地区約0.1km) | | | |
| 道路、公園、海岸等の歩道の整備② (環境部自然保護課) | 道路:遊歩道の整備 公園:自然公園施設等の再整備4箇所 | | | | | | | | |
| | ○自然公園施設整備事業 沖縄海岸国定公園ふさと歩道(L=140m) 休憩施設整備工事設計委託(具志頭村) | ○自然公園施設整備事業 休憩施設設計(今帰仁村) | ○自然公園施設整備事業 休憩所再整備(八重瀬町) 休憩所施設設計(恩納村) | 未実施 | ○自然公園施設整備事業 標識設置(渡嘉敷村、座間味村) 休憩施設再整備(恩納村) 休憩施設設計(糸満市) | ○自然公園施設整備事業 休憩施設再整備(糸満市) | | | |
| 日常空間のウォーキング・ランニング環境化支援 (土木建築部 道路街路課 都市公園課 道路管理課) | 道路:4路線の街路整備・その他路線の整備 公園:総合公園、運動公園等の整備 | | | | | | | | |
| | ○道路(浦添西原線等45路線) ○街路(豊見城中央線等24路線) ○公園(末吉公園等14箇所) ○歩道(国道449号等23路線) ○海岸(中城湾港海岸豊原地区等約0.7km) | ○道路(浦添西原線等45路線) ○街路(豊見城中央線等24路線) ○公園(末吉公園等14箇所) ○歩道(国道449号等23路線) ○海岸(中城湾港海岸豊原地区等約0.7km) | ○道路(浦添西原線等39路線) ○街路(豊見城中央線等26路線) ○公園(黄金森公園等) ○歩道(国道449号等23路線) | ○道路(浦添西原線等39路線) ○街路(豊見城中央線等25路線) ○公園(黄金森公園等) ○歩道(県道12号線等20路線) | ○道路(浦添西原線等38路線) ○街路(豊見城中央線等25路線) ○公園(黄金森公園等) ○歩道(県道12号線等26路線) | ○道路(浦添西原線等39路線) ○街路(豊見城中央線等26路線) ○公園(黄金森公園等) ○歩道(具志川環状線等20路線) | | | |
| | モデル5路線の整備 | | | | 追加路線の検討、整備 | | | | |
| | 整備効果検証(モデル路線) | | | | 整備効果検証(モデル路線及び追加路線) | | | | |
| ○がんにゅーどー事業 奥武山米須線等5路線 | ○がんにゅーどー事業 奥武山米須線等5路線 | ○がんにゅーどー事業 石垣浅田線等2路線 | ○がんにゅーどー事業 石垣浅田線等2路線 | ○がんにゅーどー事業 石垣浅田線等3路線 | ○がんにゅーどー事業 高野西里線 | | | | |
| 取組指標 | 基準値 | | | 実績値（見込み）が確認できる直近の年度 | | 目標値 | | | |
| 歩いていける身近な都市(街区)公園箇所数 | 3.2箇所/100ha (H22年度) | | | 3.2箇所/100ha (R元年度) | | 3.3箇所/100ha (R4年度) | | | |
| 運動等の目的で利用できる都市公園(運動公園、総合公園等)の面積 (1人あたり) | 6.0㎡ (H22年度) | | | 6.2㎡ (R元年度) | | 6.5㎡ (R4年度) | | | |

| | | | | | | | | |
|--------------------------------------|---|---|---------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|--------------|--------------|
| 取組 | ② 公共交通機関の利用促進 | | | | | | | |
| 取組内容 | バス、都市モノレール等の公共交通機関の利便性の向上や利用促進のための啓発活動を行うことで、公共交通機関の利用を促進します。 | | | | | | | |
| 年度別計画 主な取組 | 2015 (H27) | 2016 (H28) | 2017 (H29) | 2018 (H30) | 2019 (R1) | 2020 (R2) | 2021 (R3) | 2022 (R4) |
| 公共交通機関の利便性の向上① (企画部交通政策課) | ノンステップバス導入、多言語対応機器導入 | | 公共交通機関の利便性向上 | | | | | |
| | ○ノンステップバス導入数(32台) ○多言語対応機器導入(7カ所)先行電光表示器78台) | ○ノンステップバス導入数(39台) ○多言語対応機器導入(7カ所)先行電光表示器48台) | ○ノンステップバス導入数(21台) ○車内案内表示器導入(292台) | ○ノンステップバス導入数(3台) ○車内案内表示器導入(50台) | ○ノンステップバス導入数(3台) ○車内案内表示器導入(30台) | ○車内案内表示器導入(25台) | | |
| 公共交通機関の利便性の向上② (土木建築部都市計画・モノレール課) | モノレール・バス乗継実 | | モビリティーマネジメント等の実施 | | | | | |
| | ○首里駅～琉球大学バス乗継実証実験 | ○琉大構内へのバス停車帯設置 ○赤嶺駅周辺P&R駐車場需要調査 | ○てだこ浦西駅交結節機能検討業務 ○経塚駅周辺P&R需要調査 | ○「学校モビリティ・マネジメント(MMM)」に係る業務 | ○モノレール延長区間の開業 | ○駅周辺の施設や施設へのルート等の情報をHP等で情報発信 | | |
| 公共交通利用促進のための啓発活動 (企画部交通政策課) | 過度な自家用車利用から、公共交通利用への転換を促す | | | | | | | |
| | ○TDM施策アクションプランに基づく公共交通活性化策の実施 | ○TDM施策アクションプランに基づく公共交通活性化策の実施 | ○TDM施策アクションプランに基づく公共交通活性化策の実施 | ○TDM施策アクションプランに基づく公共交通活性化策の実施 | ○TDM施策アクションプランに基づく公共交通活性化策の実施 | ○TDM施策アクションプランに基づく公共交通活性化策の実施 | | |
| 取組指標 | 基準値 | | | 実績値(見込み)が確認できる直近の年度 | | 目標値 | | |
| 乗合バス利用者数 | 26,097千人/年 (H25年度) | | | 26,034千人/年 (R元年度) | | 増加 (R4年度) | | |
| モノレールの乗客数 | 35,551人/日 (H22年度) | | | 30,044人/日 (R2年度) | | 増加 (R4年度) | | |

| | | | | | | | | |
|--|--|---|--|--|---|---|--------------|--------------|
| 取組 | (3) 日常的に体を動かす機会の提供 | | | | | | | |
| 取組内容 | 地域住民のスポーツ活動の拠点となる総合型地域スポーツクラブを支援するとともに、スポーツ・レクリエーション活動を全県的な規模で実践する場を提供することや都市農村交流活動を推進するにより、日常的に体を動かす機会を提供します。 | | | | | | | |
| 年度別計画 主な取組 | 2015 (H27) | 2016 (H28) | 2017 (H29) | 2018 (H30) | 2019 (R1) | 2020 (R2) | 2021 (R3) | 2022 (R4) |
| スポーツ活動の拠点づくり (文化観光スポーツ部スポーツ振興課) | 総合型地域スポーツクラブの立ち上げ、育成・自立支援、課題解決等 | | | | | | | |
| | <p>○総合型地域スポーツクラブ普及啓発活動(クラブ訪問数1197)</p> <p>○総合型地域スポーツクラブ担当者会議(参加数21名)</p> <p>○総合型地域スポーツクラブ研修会(参加数21名)</p> <p>○スポーツ活動指導者講習会(参加数23名)</p> <p>○スポーツ活動-育成講習会(参加数28名)</p> | <p>○クラブアドバイザーによる総合型地域スポーツクラブ訪問を通じ、助言・指導を実施(訪問件数76件)</p> <p>○総合型地域スポーツクラブ担当者連絡会議開催(参加数29名)</p> <p>○総合型地域スポーツクラブ研修会開催(参加数24名)</p> <p>○大学連携 大学の授業やゼミを活用し大学生向けに総合型地域スポーツクラブの普及啓発を実施(参加者：名桜大学33名、沖縄国際大学82名、国立大学法人琉球大学4名)</p> <p>○市町村を訪問し、クラブ運営者を交えた意見交換会の開催(13市町村)</p> | <p>○クラブアドバイザーによる総合型地域スポーツクラブ訪問を通じ、助言・指導を実施(訪問件数97件)</p> <p>○総合型地域スポーツクラブ研修会及び担当者連絡会議開催(参加数51名)</p> <p>○大学連携 大学の授業やゼミを活用し大学生向けに総合型地域スポーツクラブの普及啓発を実施(参加者：名桜大学33名、沖縄国際大学82名、国立大学法人琉球大学4名)</p> <p>○市町村を訪問し、クラブ運営者を交えた意見交換会の開催(13市町村)</p> | <p>○クラブアドバイザーによる総合型地域スポーツクラブ訪問を通じ、助言・指導を実施(訪問件数100件)</p> <p>○総合型地域スポーツクラブ研修会及び担当者連絡会議開催(参加数29名)</p> <p>○大学等連携 大学・専門学校の授業等を活用し大学生向けに総合型地域スポーツクラブの普及啓発を実施(参加者：沖縄国際大学160名、名桜大学50名、SOLA沖縄保健医療工学部95名、那覇看護専門学校120名)</p> <p>○市町村を訪問し、クラブ運営者を交えた意見交換会の開催(9市町村)</p> | <p>○クラブアドバイザーによる総合型地域スポーツクラブ訪問を通じ、助言・指導を実施(訪問件数66件)</p> <p>○総合型地域スポーツクラブ研修会及び担当者連絡会議開催(参加数21名)</p> <p>○大学連携 大学の授業を活用し大学生向けに総合型地域スポーツクラブの普及啓発を実施(参加者：沖縄国際大学379名、名桜大学105名)</p> <p>○市町村を訪問し、クラブ運営者を交えた意見交換会の開催(4市町村)</p> | <p>○クラブアドバイザーによる総合型地域スポーツクラブ訪問を通じ、助言・指導を実施(訪問件数59件)</p> <p>○総合型地域スポーツクラブ研修会及び担当者連絡会議は、コロナの影響による中止。</p> <p>○大学連携 大学の授業を活用し大学生向けに総合型地域スポーツクラブの普及啓発を実施(参加者：沖縄国際大学379名、名桜大学106名)</p> <p>○市町村を訪問し、クラブ運営者を交えた意見交換会の開催(4市町村)</p> | | |
| スポーツ・レクリエーションイベントの開催 (文化観光スポーツ部スポーツ振興課) | スポーツ・レクリエーション祭開催(毎年度)(参加人数8000人台) | | | | | | | |
| | <p>○県スポーツ・レクリエーション祭 参加種目数：約38種目(ラグビー、卓球など) 参加者数：約9,407人</p> | <p>○県スポーツ・レクリエーション祭・17市町村で38種目(ラグビー、卓球など)実施。 ・約9,582人が参加。</p> | <p>○県スポーツ・レクリエーション祭・13市町村で34種目(ラグビー、卓球など)実施。 ・約9,200人が参加。 ※台風により4種目中止。中止となった大会の参加見込を加味した人数は10,146人</p> | <p>○県スポーツ・レクリエーション祭・16市町村で40種目(ラグビー、卓球など)実施。 ・約10,193人が参加。</p> | <p>○県スポーツ・レクリエーション祭 ・15市町村で36種目(テニス、スポーツ吹矢など)実施。 ・約8,782人が参加。 ※当初16市町村・37種目開催予定だったが、悪天候により1村・1種目未実施。</p> | <p>○県スポーツ・レクリエーション祭 ・8市町村で14種目(ソフトテニス、グラウンドゴルフなど)実施。 ・約2,035人が参加。 ※感染症対策を徹底できる種目限定開催。</p> | | |
| 取組指標 | 基準値 | | | 実績値(見込み)が確認できる直近の年度 | | 目標値 | | |
| スポーツ実施率(成人、週1回以上) | 39.0% (H24年度) | | | 58.5% (R1年度) | | 65.0% (R4年度) | | |
| 運動等の目的で利用できる都市公園(運動公園、総合公園等)の面積(1人あたり) | 6.0㎡ (H22年度) | | | 6.2㎡ (R元年度) | | 6.5㎡ (R4年度) | | |

再掲

| | | | | | | | | |
|--------------------------------|--|--|--|--|--|--|--------------|--------------|
| 施策 | 2 栄養バランスのよい食事 | | | | | | | |
| 施策内容 | 栄養バランスのよい食事においては、県民の食事栄養バランスの改善を目的として県産農林水産物の生産・流通の促進、食生活の改善に取り組みます。 | | | | | | | |
| 施策指標 | 基準値 | | 実績値（見込み）が確認できる直近の年度 | | 目標値 | | | |
| 野菜摂取量 | 282.6g (H23年度) | | 272.2g (H28年度) | | 350g以上 (R4年度) | | | |
| 果物摂取量 | 63.2g (H23年度) | | 76.3g (H28年度) | | 130g (R4年度) | | | |
| 取組 | (1) 県産農林水産物の生産・流通の促進 | | | | | | | |
| 取組内容 | 野菜・果樹の生産振興や地産地消による消費拡大等を行い県産農林水産物の生産・流通を促進します。 | | | | | | | |
| 年度別計画 主な取組 | 2015 (H27) | 2016 (H28) | 2017 (H29) | 2018 (H30) | 2019 (R1) | 2020 (R2) | 2021 (R3) | 2022 (R4) |
| 野菜・果樹の生産振興 (農林水産部園芸振興課) | 野菜・果樹の生産振興と普及 | | | | | | | |
| | ○わった-島ヤイ産地力強化事業 実証展示ほの設置 3地区 ○果樹産地総合整備事業 実証展示ほの設置 2地区 | ○わった-島ヤイ産地力強化事業 実証展示ほの設置 6地区 ○果樹産地総合整備事業 実証展示ほの設置 4地区 | ○わった-島ヤイ産地力強化事業 実証展示ほの設置 5地区 ○果樹産地総合整備事業 実証展示ほの設置 1地区 | ○島ヤサイ産地拡大推進事業 実証展示ほの設置 2地区 ○果樹産地総合整備事業 実証展示ほの設置 3地区 | ○島ヤサイ産地拡大推進事業 実証展示ほの設置 1地区 ○果樹産地総合整備事業 実証展示ほの設置 3地区 | ○島ヤサイ産地拡大推進事業 実証展示ほの設置 1地区 ○果樹産地総合整備事業 実証展示ほの設置 3地区 | | |
| 地産地消による消費拡大 (農林水産部流通・加工推進課) | 地産地消推進による県産農林水産物の消費拡大 | | | | | | | |
| | ○「おきなわ食材の店」の募集及び 35店舗の新規登録 | ○「おきなわ食材の店」の募集及び 43店舗の新規登録 | ○「おきなわ食材の店」の募集及び 29店舗の新規登録 | ○「おきなわ食材の店」の募集及び 26店舗の新規登録 | ○「おきなわ食材の店」の募集 及び34店舗の新規登録 | ○「おきなわ食材の店」の募集 及び17店舗の新規登録 | | |
| 取組指標 | 基準値 | | 実績値（見込み）が確認できる直近の年度 | | 目標値 | | | |
| 野菜の生産量 | 54,800トン (H24年度) | | 52,387トン (H31年) | | 92,900トン (R4年度) | | | |
| 果樹の生産量 | 10,800トン (H24年度) | | 13,006トン (H31年度) | | 20,500トン (R4年度) | | | |
| 「おきなわ食材の店」登録店舗数 | 208店 (H26年度) | | 324店 (R2年度) | | 350店 (R4年度) | | | |

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|---|---|--|--------------|--------------|--|--|
| 取組 | ② 食生活の改善の促進 | | | | | | | | | |
| 取組内容 | 食生活改善の機会づくりや食育の推進を行い、食生活の改善の促進に取り組みます。 | | | | | | | | | |
| 年度別計画 主な取組 | 2015 (H27) | 2016 (H28) | 2017 (H29) | 2018 (H30) | 2019 (R1) | 2020 (R2) | 2021 (R3) | 2022 (R4) | | |
| 食生活改善の機会づくり① (保健医療部健康長寿課) | 人材の育成 | | | | | | | | | |
| | ○栄養改善対策事業 地域活動栄養士や市町村栄養士の資質向上研修会等(27回) ○糖尿病予防戦略事業 健康づくりのリーグ-研修会(5回) | ○栄養改善対策事業 地域活動栄養士や市町村栄養士の資質向上研修会等(13回) ○糖尿病予防戦略事業 健康づくりのリーグ-研修会(6回) | ○栄養改善対策事業 地域活動栄養士や市町村栄養士の資質向上研修会等(16回) ○糖尿病予防戦略事業、ボランティア養成・活動強化支援事業 健康づくりのリーグ-研修会等(10回) | ○栄養改善対策事業 地域活動栄養士や市町村栄養士の資質向上研修会等(19回) ○糖尿病予防戦略事業、ボランティア養成・活動強化支援事業 健康づくりのリーグ-研修会等(7回) | ○栄養改善対策事業 地域活動栄養士や市町村栄養士の資質向上研修会等(18回) ○糖尿病予防戦略事業、ボランティア養成・活動強化支援事業 健康づくりのリーグ-研修会等(5回) | ○栄養改善対策事業 地域活動栄養士や市町村栄養士の資質向上研修会等(8回) ○糖尿病予防戦略事業、ボランティア養成・活動強化支援事業 健康づくりのリーグ-研修会等(1回) | | | | |
| | 栄養情報提供店の普及 | | | | | | | | | |
| | ○栄養情報提供店登録制度 飲食店で栄養成分表示や健康・栄養に関する情報を提供 ※登録店:107店舗 | ○栄養情報提供店登録制度 飲食店で栄養成分表示や健康・栄養に関する情報を提供 ※登録店:107店舗 | ○栄養情報提供店登録制度 飲食店で栄養成分表示や健康・栄養に関する情報を提供 ※登録店:111店舗 | ○栄養情報提供店登録制度 飲食店で栄養成分表示や健康・栄養に関する情報を提供 ※登録店:105店舗 | ○栄養情報提供店登録制度 飲食店で栄養成分表示や健康・栄養に関する情報を提供 ※登録店:95店舗 | ○栄養情報提供店登録制度 飲食店で栄養成分表示や健康・栄養に関する情報を提供 ※登録店:90店舗 | | | | |
| | 地域における食生活改善方策の実証研究 | | 研究成果に基づく地域における食生活改善の施策実施 | | | | | | | |
| | ○健康行動実践モデル実証事業 科学的根拠に基づく行動変容を促進し健康行動へ誘導。 H27年度決算額 60,000千円 | ○健康行動実践モデル実証事業 科学的根拠に基づく行動変容を促進し健康行動へ誘導。 H28年度決算額 61,055千円 | ○健康行動実践モデル実証事業 科学的根拠に基づく行動変容を促進し健康行動へ誘導。 H29年度決算額 38,990千円 | 事業実施なし | 事業実施なし | 事業実施なし | | | | |
| | 食生活改善の機会づくり② (教育庁保健体育課) | | | | | | | | | |
| | 副読本を活用した小学校の食育推進 | | | | 副読本を活用した食育推進 | | | | | |
| | ○活用率:食生活学習教材62.2%、生活習慣学習教材43.6% | ○活用率:食生活学習教材83.6%、生活習慣学習教材72.1% | ○活用率:食生活学習教材82.2%、生活習慣学習教材66.2% | ○活用率:食生活学習教材77.5%、生活習慣学習教材63.5% | ○活用率 食生活学習教材78.9% 生活習慣学習教材60.9% | ○活用率 食生活学習教材76.4% 生活習慣学習教材58.4% | | | | |
| | 食育推進モデル校8高校の食育推進 | | 成果を県内高校へ発信 | | | | | | | |
| ○高校生の食育推進モデル事業 栄養調査の実施、食生活習慣の改善促進(8校) | ○高校生の食育推進モデル事業 食育講演会及び栄養調査の実施 食生活習慣の改善促進(8校) | ○高校生の食育推進モデル事業 に係るBDHQ栄養調査報告書の作成及び配布 | ○高校生の食育推進モデル事業 に係るBDHQ栄養調査報告書を各学校に配布し、食育を推進 | ○「学校における指導の努力点」の努力事項として「食育の推進」を位置づけ、高校生の食に関する課題の解決に向けて実施 | ○「学校における指導の努力点」の努力事項として「食育の推進」を位置づけ、高校生の食に関する課題の解決に向けて実施 | | | | | |
| 食育の推進① (保健医療部健康長寿課) | | | | | | | | | | |
| 食育推進協議会の開催 | | | | ●第3次食育推進計画策定 | | | | | | |
| ○食育推進事業 食育推進協議会(1回) | ○食育推進事業 食育推進協議会(1回) | ○食育推進事業 食育推進協議会(2回) | ○食育推進事業 食育推進協議会(1回) | ○食育推進事業 食育推進協議会(1回) | ○食育推進事業 食育推進協議会(実績なし) | | | | | |
| 職場における食育推進方策の検討 | | 職場における食育推進 | | | | | | | | |
| ○働き盛りの健康づくり支援事業 食生活改善の取組(8事業所) | ○働き盛りの健康づくり支援事業 食生活改善の取組(6事業所) | ○職場の健康力アップ支援事業 食生活改善の取組(10事業所) | ○職場の健康力アップ支援事業 健康づくりの取組(30事業所) | ○職場の健康力アップ支援事業 健康づくりの取組(31事業所) | ○職場の健康力アップ促進業務 健康づくりの取組(28事業所) | | | | | |
| 食事バランスガイドの普及 | | | | | | | | | | |
| ○食育推進事業 食育フェスティバルの開催、食事バランスガイドの啓発 | ○食育推進事業 食育フェスティバルの開催、食事バランスガイドの啓発 | ○食育推進事業 食事バランスガイドの啓発 | ○食育推進事業 食事バランスガイドの啓発 | ○食育推進事業 食事バランスガイドの啓発 | ○食育推進事業 食事バランスガイドの啓発 | | | | | |
| 食育イベントの開催 | | | | | | | | | | |
| ○食育推進事業 食育フェスティバル(5カ所) | ○食育推進事業 食育フェスティバル(5カ所) | ○食育推進事業 第3次食育推進計画策定のため食育フェスティバルの実施なし | ○食育推進事業 食育推進イベント(5カ所) | ○食育推進事業 食育推進イベント(3カ所) | ○食育ワーキング チーム(3回) | | | | | |

| | | | | | | | | |
|------------------------|---|---|---|--|--|---|--------------|--------------|
| 取組 | (2) 食生活の改善の促進 | | | | | | | |
| 取組内容 | 食生活改善の機会づくりや食育の推進を行い、食生活の改善の促進に取り組みます。 | | | | | | | |
| 年度別計画 主な取組 | 2015 (H27) | 2016 (H28) | 2017 (H29) | 2018 (H30) | 2019 (R1) | 2020 (R2) | 2021 (R3) | 2022 (R4) |
| 食育の推進② (教育庁生涯学習振興課) | 家庭教育支援アドバイザーの養成及び「親のまなびあい」プログラムの実施 | | | | H31以降は、市町村が実施 | | | |
| | ○や-なれ-事業 保護者同士の学び 合いプログラム(81 回、3,070人体 験) 7ドバイザ-養成講 座(10回、220名登 録) | ○や-なれ-事業 保護者同士の学び 合いプログラム(311 回、7,378人体 験) 7ドバイザ-養成講 座(7回、151人登 録) | ○や-なれ-事業 保護者同士の学び 合いプログラム(366 回、10,704人体 験) 7ドバイザ-養成講 座(14回、247人登 録) | ○や-なれ-事業 保護者同士の学び 合いプログラム(233 回、7,994人体 験) 7ドバイザ-養成講 座(12回、190人登 録) | ○や-なれ-事業 保護者同士の学 び合いプログラム (183回、4,009 人体験) 7ドバイザ-養成講 座(3回、58人登 録) | ○や-なれ-事業 保護者同士の学 び合いプログラム(41 回、353人体験) 7ドバイザ-養成講 座(1回、10人登 録) | | |
| 取組指標 | 基準値 | | 実績値(見込み)が確認できる 直近の年度 | | 目標値 | | | |
| 栄養情報提供店の登録数 | 67店舗 (H23年度) | | 90店舗 (R2年度) | | 150店舗 (R4年度) | | | |
| 朝食欠食率 | 20代男性: 31.1% 30代男性: 35.0% (H23年) | | 20代男性: 31.3% 30代男性: 31.8% (H28年) | | 20代男性: 20% 30代男性: 20% (R4年度) | | | |

| | | | |
|----------|--|--|------------------------------------|
| 施策 | 3 一人ひとりの健康管理の支援 | | |
| 施策内容 | 一人ひとりの健康管理の支援においては、生涯を通して健康的な生活を送るための環境整備を目的として、食や健康に関する教材や情報の提供、高齢者の生きがいがいづくりや社会参加の促進、死亡事故対策、自殺やタバコ対策に取り組みます。 | | |
| 施策指標 | 基準値 | 実績値（見込み）が確認できる直近の年度 | 目標値 |
| 特定健診の受診率 | 41.9% (H22年度) | 52.2% (R1年度) | 増加 (R4年度) |
| 成人肥満率 | 男性(20-60代) : 46.3% 女性(40-60代) : 37.5% (H23年) | 男性(20-60代) : 39.9% 女性(40-60代) : 29.8% (H28年) | 男性 : 25.0% 女性 : 25.0% (R4年度) |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---------------------------------------|---|--|-----------------------------------|-----------------------------------|--------------|--------------|--|
| 取組 | (1) 食や健康に関する教材や情報の提供 | | | | | | | | |
| 取組内容 | 実践的な食育教材や健康情報の提供、副読本等の配布など情報環境の整備に取り組みます。 | | | | | | | | |
| 年度別計画 主な取組 | 2015 (H27) | 2016 (H28) | 2017 (H29) | 2018 (H30) | 2019 (R1) | 2020 (R2) | 2021 (R3) | 2022 (R4) | |
| 実践的な食育教材、健康情報の提供 副読本等の配布 (保健医療部健康長寿課) | パンフレット配布・パネル展・講演会等の開催 | | | | | | | | |
| | ○副読本PRリフレット配布（小中学生向け） | ○保護者向け講演会実施（中北部、八重山） ○副読本PRリフレット配布 | ○保護者及び県民向け講演会実施（那覇・蒲部、宮古） ○副読本PRリフレット配布 ○イベントでのパネル展 | ○県民向け講演会実施（沖縄県婦人連合会） ○副読本PRリフレット配布 ○イベントでのパネル展 | ○副読本PRリフレット配布 ○イベントでのパネル展 | ○副読本配布 ○イベントでのパネル展示 | | | |
| | 児童生徒への副読本の配布 | | | | | | | | |
| | ○副読本配布 小1：食育、小4：生活習慣、中1：こころの健康 | ○副読本配布 小1：食育、小4：生活習慣、中1：こころの健康 | ○副読本配布 小1：食育、小4：生活習慣、中1：こころの健康 | ○副読本配布 小1：食育、小4：生活習慣、中1：こころの健康 | ○副読本配布 小1：食育、小4：生活習慣、中1：こころの健康 | ○副読本配布 小1：食育、小4：生活習慣、中1：こころの健康 | | | |
| チャージンジャーおきなわ応援団の普及 | | | | | | | | | |
| ○「チャージンジャーおきなわ応援団」を結成及び健康づくり運動の推進 | ○「チャージンジャーおきなわ応援団」を結成及び健康づくり運動の推進 | ○「チャージンジャーおきなわ応援団」を結成及び健康づくり運動の推進 | ○「チャージンジャーおきなわ応援団」を結成及び健康づくり運動の推進 | ○「チャージンジャーおきなわ応援団」を結成及び健康づくり運動の推進 | ○「チャージンジャーおきなわ応援団」を結成及び健康づくり運動の推進 | ○「チャージンジャーおきなわ応援団」を結成及び健康づくり運動の推進 | | | |
| 取組指標 | 基準値 | | | 実績値（見込み）が確認できる直近の年度 | | 目標値 | | | |
| 朝食欠食率 | 20代男性：31.1% 30代男性：35.0% (H23年) | | | 20代男性：31.3% 30代男性：31.8% (H28年) | | 20代男性：20% 30代男性：20% (R4年度) | | | |
| チャージンジャーおきなわ応援団参加団体数 | 57団体 (H22年) | | | 111団体 (R2年) | | 120団体 (R4年度) | | | |

再掲

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|--|---|--------------|--------------|--|
| 取組 | (2) 高齢者の生きがいがづくりや社会参加の促進 | | | | | | | | |
| 取組内容 | 介護予防対策や元気な高齢者の活躍の場づくりを行うことで高齢者の生きがいがづくりや社会参加を促進します。 | | | | | | | | |
| 年度別計画 主な取組 | 2015 (H27) | 2016 (H28) | 2017 (H29) | 2018 (H30) | 2019 (R1) | 2020 (R2) | 2021 (R3) | 2022 (R4) | |
| 介護予防 (子ども生活福祉部高齢者福祉介護課) | 介護予防事業従事者研修の実施 | | | | | | | | |
| | ○介護予防市町村支援事業 地域包括支援センター職員等研修(9回、664人参加) | ○介護予防市町村支援事業 地域包括支援センター職員等研修(8回、703人参加) | ○介護予防市町村支援事業 地域包括支援センター職員等研修(9回、876人参加) | ○介護予防市町村支援事業 地域包括支援センター職員等研修(8回、535人参加) | ○介護予防市町村支援事業 地域包括支援センター職員等研修(9回、580人参加) | ○介護予防市町村支援事業 地域包括支援センター職員等研修(7回、635人参加) | | | |
| 元気な高齢者の活躍の場づくり① (子ども生活福祉部 高齢者福祉介護課) | かりゆし長寿大学の運営、ねんりんピック・かりゆし美術展の開催、派遣等による、高齢者の生きがいがづくり、健康保持、社会参加への支援 | | | | | | | | |
| | ○社会参加促進事業 長寿大学189名卒業、全国ねんりんピック選手、役員112名派遣、県ねんりんピック2,678名参加 | ○社会参加促進事業 長寿大学188名卒業、全国ねんりんピック選手、役員110名派遣、県ねんりんピック2,740名参加 | ○社会参加促進事業 長寿大学190名卒業、全国ねんりんピック選手・役員110名派遣、県ねんりんピック2,650名参加 | ○社会参加促進事業 長寿大学189名卒業、全国ねんりんピック選手・役員114名派遣、県ねんりんピック3,107名参加 | ○社会参加促進事業 長寿大学189名卒業、全国ねんりんピック選手・役員113名派遣、県ねんりんピック1,734名参加(台風により一部中止) | ○社会参加促進事業 長寿大学189名卒業、全国ねんりんピック選手・役員派遣・県ねんりんピック：休止(感染症拡大防止のため) | | | |
| | 企業開拓訪問等による職種の拡大 | | | | 雇用需給ミスマッチの解消 | | | | |
| | ○高齢者無料職業紹介所運営事業 紹介人数77人、企業等訪問件数23件 | ○高齢者無料職業紹介所運営事業 紹介人数101人、企業等訪問件数24件 | ○高齢者無料職業紹介所運営事業 紹介人数98人、企業等訪問件数7件、合同面接会開催1回(参加企業数20団体) | ○高齢者無料職業紹介所運営事業 紹介人数96人、企業等訪問件数21件、合同面接会開催1回(参加企業数19団体) | ○高齢者無料職業紹介所運営事業 紹介人数69人、企業等訪問件数24件、合同面接会開催1回(参加企業数20団体) | ○高齢者無料職業紹介所運営事業 紹介人数97人、企業等訪問(求職登録者情報の資料配布等)で対応、求人数222件(60件増)合同面接会開催(中止) ※感染症の感染防止のため取組内容を変更。 | | | |
| 元気な高齢者の活躍の場づくり② (商工労働部雇用政策課) | 沖縄県シルバー人材センター連合及び新設シルバー人材センターへの支援、シルバー人材センターを設置していない市町村へ、設置に向けた働きかけを行い、段階的な整備 | | | | | | | | |
| | ○高齢者雇用対策事業 沖縄県シルバー人材センター連合及び新設シルバー人材センター(2件)に対する運営費の助成。 | ○高齢者雇用対策事業 沖縄県シルバー人材センター連合及び新設シルバー人材センター(1件)に対する運営費の助成。 | ○高齢者雇用対策事業 沖縄県シルバー人材センター連合及び新設シルバー人材センター(1件)に対する運営費の助成。 | ○高齢者雇用対策事業 沖縄県シルバー人材センター連合に対する運営費の助成。 | ○高齢者雇用対策事業 沖縄県シルバー人材センター連合に対する運営費の助成。 | ○高齢者雇用対策事業 沖縄県シルバー人材センター連合に対する運営費の助成。 | | | |
| 取組指標 | 基準値 | | | 実績値(見込み)が確認できる直近の年度 | | 目標値 | | | |
| 介護認定を受けていない高齢者の割合 | 81.9% (H23年度) | | | 82.2% (R2年) | | 82.0% (R4年度) | | | |

| 取組 | (3) 死亡事故対策、自殺や生活習慣病予防対策（タバコ・アルコール等） | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|--|--|---|--------------|--|
| 取組内容 | 交通死亡事故の減少、自殺対策のほか生活習慣病対策の推進に取り組みます。 | | | | | | | | |
| 年度別計画 主な取組 | 2015 (H27) | 2016 (H28) | 2017 (H29) | 2018 (H30) | 2019 (R1) | 2020 (R2) | 2021 (R3) | 2022 (R4) | |
| 交通死亡事故の減少 飲酒運転の根絶 (子ども生活福祉部消費・くらし安全課) | 交通安全対策に関する広報・啓発活動、飲酒運転根絶に向けた取組の実施 | | | | | | | | |
| | ○交通安全運動事業 ○飲酒運転のない社会環境づくり事業 | ○交通安全運動事業 ○飲酒運転のない社会環境づくり事業 | ○交通安全運動事業 ○飲酒運転のない社会環境づくり事業 | ○交通安全運動事業 ○飲酒運転のない社会環境づくり事業 | ○交通安全運動事業 ○飲酒運転のない社会環境づくり事業 | ○交通安全運動事業 ○飲酒運転のない社会環境づくり事業 | ○交通安全運動事業 ○飲酒運転のない社会環境づくり事業 | | |
| 死亡事故対策 (教育庁保健体育課) | 防犯教室講習会、高校生の交通問題を考える実践交流会の実施 | | | | | | | | |
| | ○学校安全指導者養成講習会(256名参加) ○高校生の交通問題を考える実践交流会(579名参加) | ○学校安全指導者養成講習会(277名参加) ○高校生の交通問題を考える実践交流会(556名参加) | ○防犯教室講習会(257名参加) ○高校生の交通問題を考える実践交流会(476名参加) | ○防犯教室講習会(284名参加) ○高校生の交通問題を考える実践交流会(472名参加) | ○防犯教室講習会(284名参加) ○高校生の交通問題を考える実践交流会(492名参加) | ○防犯教室講習会(185名参加) ○高校生の交通問題を考える実践交流会(284名参加) | | | |
| 自殺対策 (保健医療部地域保健課) | 事業効果検証及び内容再検討 | | | | | | | | |
| | 沖縄県自殺総合対策行動計画の見直し | | | | | | | | |
| | ○現状及び課題の共有 自殺対策連絡協議会(2回) 県機関連絡会議(1回) | ○現状及び課題の共有 自殺対策連絡協議会(1回) 県機関連絡会議(1回) | ○現状及び課題の共有 自殺対策連絡協議会(1回) 県機関連絡会議(1回) | ○現状及び課題の共有 自殺対策連絡協議会(1回) 県機関連絡会議(1回) | ○現状及び課題の共有 自殺対策連絡協議会(1回) 県機関連絡会議(1回) | ○現状及び課題の共有 自殺対策連絡協議会(1回) 県機関連絡会議(1回) | | | |
| | 県、市町村、民間団体により、若年層対策、経済情勢対策、その他地域の実情に応じて強化すべき自殺対策事業の実施 | | | | | | | | |
| | ○自殺対策強化事業 心の健康相談、ゲートキーパ-養成研修、ハル展等(27市町村、1民間団体、県)105事業実施。 ○自殺予防事業 心の健康対応力研修(1回) | ○自殺対策強化事業 心の健康相談、ゲートキーパ-養成研修、ハル展等(27市町村、1民間団体、県)128事業実施。 ○自殺予防事業 心の健康対応力研修(1回) | ○自殺対策強化事業 心の健康相談、ゲートキーパ-養成研修、ハル展等(25市町村、1民間団体、県)119事業実施。 ○自殺予防事業 心の健康対応力研修(1回) | ○自殺対策強化事業 心の健康相談、ゲートキーパ-養成研修、ハル展等(24市町村、1民間団体、県)112事業実施。 ○自殺予防事業 心の健康対応力研修(1回) | ○自殺対策強化事業 心の健康相談、ゲートキーパ-養成研修、ハル展等(23市町村、1民間団体、県)99事業実施。 ○自殺予防事業 心の健康対応力研修(1回) | ○自殺対策強化事業 心の健康相談、ゲートキーパ-養成研修、ハル展等(12市町村、2民間団体、県)75事業実施。 ○自殺予防事業 心の健康対応力研修(1回) | | | |
| 生活習慣病予防対策 (タバコ対策、アルコール対策等) (保健医療部健康長寿課) | 県民の飲酒状況調査 | 効果的な対策の検討 | 対策の実施 | | | | | | |
| | ○生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(H23) 男性：23.3% 女性：27.2% ○アルコール健康障害対策推進計画の策定(H28~H29) | ○生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(H23) 男性：23.3% 女性：27.2% ○アルコール健康障害対策推進計画の策定(H28~H29) | ○生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(H28) 男性：28.0% 女性：32.3% ○アルコール健康障害対策推進計画の策定 | ○生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(H28) 男性：28.0% 女性：32.3% | ○生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(H28) 男性：28.0% 女性：32.3% | ○生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(H28) 男性：28.0% 女性：32.3% | ○生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(H28) 男性：28.0% 女性：32.3% | | |
| 県職員の健康づくりの推進 (喫煙対策の推進) (総務部職員厚生課) | 喫煙対策に基づく取組実施及び状況把握 | | | | | | | | |
| | 禁煙希望者への支援プログラムの策定 | 各職場へ、禁煙支援プログラム案の提供、各職場へのプログラム支援・連携 喫煙者・喫煙者割合のモニタリング(定期健診の問診票) 地共済との連携による禁煙支援サポート | | | | | | | |
| | ○「職場における喫煙対策」を新しく策定 | ○「職場における喫煙対策」の推進 | ○県有施設の「職場における喫煙対策」実態調査と未実施施設への対策の推進 | ○県有施設の「職場における喫煙対策」実態調査と未実施施設への対策の推進 | ○「職場における喫煙対策」を改訂し、敷地内喫煙場所の条件を厳格化 ○職員への禁煙支援 | ○「職場における喫煙対策」の推進 ○職員への禁煙支援 | | | |
| 取組指標 | 基準値 | | | 実績値(見込み)が確認できる直近の年度 | | 目標値 | | | |
| 自殺死亡率(人口10万人当たり) | 25.5 (H22年度) | | | 16.5 (R1年) | | 減少 (R4年度) | | | |
| 24時間交通事故死者数 | 39人 (H27年度) | | | 36人 (H31年) | | 減少 (R4年度) | | | |
| 県職員の喫煙者数の減少 | 男性：524人(18.2%) 女性：35人(2.6%) 全体：559人(13.2%) (H26年度) | | | 男性：441人(13.6%) 女性：84人(3.7%) 全体：526人(9.5%) (R2年度) | | 男性：360人又は13%(約30%減) 女性：14人又は1%(半減以下) 全体：9% (約30%減) (R4年度) | | | |

| | | | |
|-----------------|---|---------------------|--------------|
| 施策 | 4 部局横断的に連携推進していく施策 | | |
| 施策内容 | 部局横断的に連携推進していく施策においては、広報誌や県開催イベント等での健康づくりに関する普及啓発や県有施設の受動喫煙防止対策の推進等に取り組みます。 | | |
| 施策指標 | 基準値 | 実績値（見込み）が確認できる直近の年度 | 目標値 |
| 県有施設の敷地内完全禁煙施設数 | R3設定 | R3設定 | 増加 (R4年度) |

| | | | | | | | | |
|----------------------------------|--|--|--|--|--|--|--------------|--------------|
| 取組 | (1) 県広報や県開催イベント等を活用した普及啓発 | | | | | | | |
| 取組内容 | 県広報誌における健康づくりに関する記事掲載や県開催イベント等においてのブースを設置し県民に対して健康づくりに関する知識の普及を図る。 | | | | | | | |
| 年度別計画 主な取組 | 2015 (H27) | 2016 (H28) | 2017 (H29) | 2018 (H30) | 2019 (R1) | 2020 (R2) | 2021 (R3) | 2022 (R4) |
| 県広報や県開催イベントを 活用した普及啓発 (共通) | 県広報や県開催イベントを活用した普及啓発 | | | | | | | |
| | ○広報誌「美ら島沖縄」の「ちゃーがんじゅう沖縄！」に掲載 ○イベント（離島フェア、まるごと健康づくり促進・周知用ブース設置。 | ○広報誌「美ら島沖縄」掲載 ○イベント（離島フェア、まるごと健康づくり促進・周知用ブース設置。 | ○広報誌「美ら島沖縄」掲載 ○県民サロン（新聞）掲載 ○イベント（がんじゅうさびら表彰式、女性の健康週間イベント等）にて健康づくり促進・周知用ブース設置 ○各季の交通安全運動開始式（4回/年間） ○飲酒運転根絶県民大会の開催 | ○広報誌「美ら島沖縄」の「ちゃーがんじゅう沖縄！」に掲載 ○イベント（がんじゅうさびら表彰式、スポーツイベント等）にて健康づくり促進・周知用ブース設置 ○各季の交通安全運動開始式（4回/年間） ○飲酒運転根絶県民大会の開催 | ○広報誌「美ら島沖縄」の「ちゃーがんじゅう沖縄！」に掲載 ○イベント（がんじゅうさびら表彰式、スポーツイベント等）にて健康づくり促進・周知用ブース設置 ○沖縄県歯科口腔保健啓発月間（歯がんじゅう月間）イベント及び講演会の開催 ○各季の交通安全運動開始式（2回/年間） ○飲酒運転根絶県民大会の開催 | ○広報誌、テレビ、ラジオ、県公式SNS(Twitter)、各種広報媒体を活用した広報を実施 ○イベント（健康経営フォーラム、健康フェア、がんじゅうさびら表彰式等）にて健康づくり促進・周知用ブース設置 ○各季の交通安全運動 | | |

| | | | | | | | | |
|---------------------------|--|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|--|--------------|--------------|
| 取組 | (2) 県有施設における受動喫煙防止対策の推進 | | | | | | | |
| 取組内容 | 県有施設における受動喫煙防止対策として、県有施設における敷地内完全禁煙の推進を図る。 | | | | | | | |
| 年度別計画 主な取組 | 2015 (H27) | 2016 (H28) | 2017 (H29) | 2018 (H30) | 2019 (R1) | 2020 (R2) | 2021 (R3) | 2022 (R4) |
| 県有施設における受動喫煙対策の推進 (共通) | 沖縄県禁煙施設認定推進制度による施設認定の推進 | | | | | 県有施設における敷地内完全禁煙の推進 | | |
| | ○喫煙率の減少喫煙・受動喫煙の健康影響について、正しい知識の普及啓発 | ○喫煙率の減少喫煙・受動喫煙の健康影響について、正しい知識の普及啓発 | ○喫煙率の減少喫煙・受動喫煙の健康影響について、正しい知識の普及啓発 | ○喫煙率の減少喫煙・受動喫煙の健康影響について、正しい知識の普及啓発 | ○喫煙率の減少喫煙・受動喫煙の健康影響について、正しい知識の普及啓発 | ○改正健康増進法に基づく多数の者が利用する施設においての受動喫煙防止に向けた普及啓発 | | |
| 取組指標 | 基準値 | | | 実績値（見込み）が確認できる直近の年度 | | 目標値 | | |
| 県有施設の敷地内完全禁煙施設数 | R3設定 | | | R3設定 | | 増加 (R4年度) | | |

R3年度事業

県民の健康づくりに資する社会環境整備(県事業)

健康長寿おきなわ復活推進本部

1. 運動しやすい 日常環境づくり

①道路、公園、海岸等に木陰を創出したり、歩道を整備することで、ウォーキング等に取り組む県民が増加する

(事業例)

- ・道路事業
- ・街路事業
- ・海岸事業
- ・がんじゅーどー事業

など

②公共交通機関の活用機会を増加することで、日常生活における歩数の増加が期待できる

(事業例)

- ・公共交通利用環境改善事業
- ・鉄軌道を含む新たな公共交通システム導入促進事業

など

③体操、カチャシー、ウォーキング等の体を動かす機会を増やすことで、日常的に運動を実施する県民が増加する

(事業例)

- ・社会体育活動支援事業
- ・広域スポーツセンター事業

など

2. 栄養バランス のよい食事

①県産農林水産物の流通を促進することで、県民の食事栄養バランスの改善を図る

(事業例)

- ・気候変動に適応した果樹農業技術開発事業
- ・先端技術を結集した園芸品目競争力強化事業
- ・【新】自宅で「お魚ごはん」推進事業

など

②食生活の改善を促進する機会や人員を増やす

(事業例)

- ・学校給食研修事業
- ・栄養改善対策事業

など

③その他食育の普及につながる事業

(事業例)

- ・沖縄食文化保存・普及・継承事業
- ・食育推進事業
- ・家庭教育支援「やーなれー」運動充実事業

など

3. 一人ひとりの 健康管理の支援

①実践的な食育教材、健康情報の提供、副読本等を活用する

(事業例)

- ・次世代の健康教育事業
- ・みんなのヘルスアクション創出事業

など

②元気な高齢者の活躍の場を増やし、介護予防やQOL改善を図る

(事業例)

- ・社会参加促進事業
- ・高齢者雇用対策事業

など

③不慮の事故等の死亡事故の減少を図る

(事業例)

- ・交通安全運動事業
- ・学校安全事業

など

④その他県民の健康管理の支援に資する事業を展開する(自殺やタバコ対策など)

(事業例)

- ・自殺予防事業
- ・がん検診充実強化促進事業
- ・【新規】親子で歯っぴ〜プロジェクト(5歳児版)

など

☆部局横断的に連携 推進している事業

連携している事業例

○沖縄県広報誌「美ら島沖縄」に「チャーがんじゅー沖縄！」のコーナーを設けるなど、県民の健康づくりに資する広報を連携して行う。

○県関連イベントへの健康啓発ブースの設置の協力

(関係部局)

など

各部局の健康づくり関連施策を実施することで、健康長寿おきなわ復活を目指す

〈令和3年度 当初予算額〉

(千円)

| | 区分 | 事業数 | 当初予算額 |
|---|------------------|-----|------------|
| 1 | 運動しやすい日常環境づくり | 20 | 24,509,402 |
| 2 | 栄養バランスのよい食事 | 15 | 197,910 |
| 3 | 一人ひとりの健康管理の支援 | 27 | 346,393 |
| 4 | 部局横断的に連携推進していく事業 | 2 | 105,319 |
| | 合計 | 64 | 13,858,316 |

※各施策の合計額は再掲を含んでいるため、当初予算額の合計と相違があります。

健康づくりに資する社会環境整備に関する事業一覧(R3当初予算額)

(単位:千円)

| 区分番号 | 事業名 | 部局名 | 課名 | R3当初予算額 | R2当初予算額 |
|------|-------------------------|-----------|-------------|-------------|--------------|
| | 合 計 | | | 13,858,316 | 17,447,046 |
| | | | ハード計 | (8,177,220) | (12,722,489) |
| | | | ソフト計 | (5,681,096) | (4,724,557) |
| 1 | 運動しやすい日常環境づくり | | | 24,509,402 | |
| 1-1 | 道路、公園等の木陰の創出 | | | 9,547,122 | |
| | 沖縄振興公共投資交付金(都市公園課市町村事業) | 土木建築部 | 都市公園課 | 427,784 | ハード |
| | 社会資本整備総合交付金(道路) | 土木建築部 | 道路街路課 | 2,636,026 | |
| | 沖縄振興公共投資交付金(道路) | 土木建築部 | 道路街路課 | 3,332,045 | ハード |
| | 沖縄振興公共投資交付金(街路) | 土木建築部 | 道路街路課 | 3,146,374 | ハード |
| | 植樹事業費 | 土木建築部 | 道路管理課 | 4,893 | |
| 1-2 | 道路、公園、海岸等の歩道の整備 | | | 12,600,428 | |
| | 公園費(社会資本整備総合交付金) | 土木建築部 | 都市公園課 | 2,180,618 | |
| | 沖縄振興公共投資交付金(海岸) | 土木建築部 | 海岸防災課 | 653,712 | ハード |
| | 社会資本整備総合交付金(防災・安全)(海岸) | 土木建築部 | 海岸防災課 | 90,000 | ハード |
| | 社会資本整備総合交付金(道路) | 土木建築部 | 道路街路課 | 2,636,026 | 再掲 |
| | 沖縄振興公共投資交付金(道路) | 土木建築部 | 道路街路課 | 3,332,045 | 再掲 |
| | 沖縄振興公共投資交付金(街路) | 土木建築部 | 道路街路課 | 3,146,374 | 再掲 |
| | 公共交通安全事業費 | 土木建築部 | 道路管理課 | 527,305 | ハード |
| | 自然公園施設整備事業費(補助事業) | 環境部 | 自然保護課 | 0 | ハード |
| | 自然環境整備交付金事業 | 環境部 | 自然保護課 | 0 | |
| | 自然公園施設整備事業(単独事業) | 環境部 | 自然保護課 | 29,209 | R3新規事業 |
| | 森林公園管理事業費 | 環境部 | 環境再生課 | 5,139 | |
| 1-3 | 公共交通機関の利用 | | | 146,713 | |
| | 都市モノレール建設推進事業 | 土木建築部 | 都市計画・モノレール課 | 0 | |
| | 公共交通利用環境改善事業 | 企画部 | 交通政策課 | 91,859 | |
| | 鉄軌道を含む新たな公共交通システム導入促進事業 | 企画部 | 交通政策課 | 54,854 | |
| 1-4 | プロスポーツのトレーニングから手法学習 | | | 0 | |
| 1-5 | ウォーキング&ランニングイベントの実施 | | | 0 | |
| 1-6 | 日常空間のウォーキング、ランニング環境化支援 | | | 2,206,718 | |
| | 公園費(社会資本整備総合交付金) | 土木建築部 | 都市公園課 | 2,180,618 | 再掲 |
| | がんじゅーどー事業 | 土木建築部 | 道路管理課 | 26,100 | |
| 1-7 | 体操、カチャーシー等の機会づくり | | | 8,421 | |
| | 社会体育活動支援事業費 | 文化観光スポーツ部 | スポーツ振興課 | 4,127 | |
| | 広域スポーツセンター事業 | 文化観光スポーツ部 | スポーツ振興課 | 4,294 | |
| 1-8 | その他 | | | 0 | |
| 2 | 栄養バランスのよい食事 | | | 197,910 | |
| 2-1 | 県産農林水産物の生産・流通促進 | | | 162,316 | |
| | 気候変動に適応した果樹農業技術開発事業 | 農林水産部 | 農林水産総務課 | 45,066 | |
| | 先端技術を結集した園芸品目競争力強化事業 | 農林水産部 | 農林水産総務課 | 40,427 | |
| | オキナワモズクの生産底上げ技術開発事業 | 農林水産部 | 農林水産総務課 | 13,509 | |
| | 沖縄野菜安定生産出荷対策事業 | 農林水産部 | 園芸振興課 | 4,760 | R3後継事業 |
| | 果樹産地総合整備事業 | 農林水産部 | 園芸振興課 | 8,475 | |
| | 地産地消マルチブランド戦略事業 | 農林水産部 | 流通・加工推進課 | 26,736 | |
| | 県産きのこ魅力発信事業 | 農林水産部 | 森林管理課 | 8,600 | |
| | 沖縄県産きのこ生産強化事業 | 農林水産部 | 森林管理課 | 11,565 | |
| | 自宅で「お魚ごはん」推進事業 | 農林水産部 | 水産課 | 3,178 | R3新規事業 |
| 2-2 | 食生活の改善の促進 | | | 3,158 | |
| | 学校給食研修事業 | 教育庁 | 保健体育課 | 1,620 | |
| | 栄養改善対策事業費 | 保健医療部 | 健康長寿課 | 1,418 | |
| | 沖縄県市町村権限移譲交付事業 | 保健医療部 | 健康長寿課 | 120 | |
| 2-3 | 調理方法等の普及、弁当、外食の質的向上 | | | 0 | |
| 2-4 | その他食育の普及につながるもの | | | 32,436 | |
| | 沖縄食文化保存・普及・継承事業 | 文化観光スポーツ部 | 文化振興課 | 14,925 | |
| | 食育推進事業 | 保健医療部 | 健康長寿課 | 3,971 | |
| | 管理栄養士養成課程設置補助事業 | 保健医療部 | 健康長寿課 | 0 | ハード |
| | 家庭教育支援「やーなれー」運動充実事業 | 教育庁 | 生涯学習振興課 | 13,540 | |

| 区分番号 | 事業名 | 部局名 | 課名 | R3予算要求 | |
|------|----------------------|----------|-----------|---------|----|
| 3 | 一人ひとりの健康管理の支援 | | | 346,393 | |
| 3-1 | 実践的食育教材、健康法情報の提供、副読本 | | | 40,897 | |
| | 食育推進事業 | 保健医療部 | 健康長寿課 | 3,971 | 再掲 |
| | 健康増進計画推進事業 | 保健医療部 | 健康長寿課 | 837 | |
| | 次世代の健康教育推進事業 | 保健医療部 | 健康長寿課 | 11,455 | |
| | みんなのヘルスアクション創出事業 | 保健医療部 | 健康長寿課 | 17,700 | |
| | 県民健康づくり推進事業費 | 保健医療部 | 健康長寿課 | 6,934 | |
| 3-2 | 元気な高齢者の活躍の場づくり | | | 141,996 | |
| | 高齢者福祉対策事業 | 子ども生活福祉部 | 高齢者福祉介護課 | 3,577 | |
| | 社会参加促進事業 | 子ども生活福祉部 | 高齢者福祉介護課 | 79,109 | |
| | 介護予防市町村支援事業 | 子ども生活福祉部 | 高齢者福祉介護課 | 45,040 | |
| | 高齢者雇用対策事業費 | 商工労働部 | 雇用政策課 | 14,270 | |
| 3-3 | 健康寿命に関する調査研究 | | | 21,420 | |
| | 健康増進計画推進事業 | 保健医療部 | 健康長寿課 | 837 | 再掲 |
| | 国民栄養調査事業費 | 保健医療部 | 健康長寿課 | 4,819 | |
| | 県民健康栄養調査事業 | 保健医療部 | 健康長寿課 | 15,764 | |
| 3-4 | 若い世代からの生きがいづくり | | | 6,015 | |
| | ワーク・ライフ・バランス推進事業 | 商工労働部 | 労働政策課 | 6,015 | |
| 3-5 | 死亡事故の減少 | | | 9,142 | |
| | 交通安全運動事業 | 子ども生活福祉部 | 消費・くらし安全課 | 1,022 | |
| | 飲酒運転のない社会環境づくり事業 | 子ども生活福祉部 | 消費・くらし安全課 | 6,279 | |
| | 学校安全事業 | 教育庁 | 保健体育課 | 1,841 | |
| 3-6 | その他(自殺・たばこ等) | | | 126,923 | |
| | 自殺対策強化事業 | 保健医療部 | 地域保健課 | 28,114 | |
| | 自殺予防事業 | 保健医療部 | 地域保健課 | 508 | |
| | 職場の健康力アップ促進事業 | 保健医療部 | 健康長寿課 | 5,301 | |
| | 健康増進計画推進事業 | 保健医療部 | 健康長寿課 | 837 | 再掲 |
| | 歯科保健推進事業費 | 保健医療部 | 健康長寿課 | 7,008 | |
| | 歯科衛生事業費 | 保健医療部 | 健康長寿課 | 589 | |
| | がん検診充実強化促進事業 | 保健医療部 | 健康長寿課 | 25,986 | |
| | 健康増進事業等推進事業費 | 保健医療部 | 健康長寿課 | 45,429 | |
| | 親子で歯っぴ〜プロジェクト(5歳児版) | 保健医療部 | 健康長寿課 | 11,030 | |
| | 薬局等を活用した健康情報拠点推進事業 | 保健医療部 | 衛生薬務課 | 581 | |
| | 健康サポート薬局のモデル薬局整備事業 | 保健医療部 | 衛生薬務課 | 0 | |
| | 訪問薬剤管理指導推進事業 | 保健医療部 | 衛生薬務課 | 1,540 | |
| 4 | 部局横断的に連携推進していく事業 | | | 105,319 | |
| | 広報活動事業費 | 知事公室 | 広報課 | 101,512 | |
| | 家庭教育支援事業 | 教育庁 | 生涯学習振興課 | 3,807 | |

※各施策の合計額は再掲を含んでいるため、当初予算額の合計と相違があります。

(単位:千円)

| 部局等名 | 事業数(R3) (再掲除く) | R3当初予算 (再掲除く) |
|-----------|-------------------|------------------|
| 知事公室 | 1事業 | 101,512 |
| 総務部 | 0事業 | 0 |
| 企画部 | 2事業 | 146,713 |
| 環境部 | 2事業 | 34,348 |
| 子ども生活福祉部 | 5事業 | 135,027 |
| 保健医療部 | 19事業 | 189,104 |
| 農林水産部 | 9事業 | 162,316 |
| 商工労働部 | 2事業 | 20,285 |
| 文化観光スポーツ部 | 3事業 | 23,346 |
| 土木建築部 | 10事業 | 13,024,857 |
| 教育庁 | 4事業 | 20,808 |
| 計 | 57事業 | 13,858,316 |

各部等における事業化（拡充含む）を検討する主なテーマに係る新規取組・事業等一覧

| 部局名 | 取組・事業名 | 取組・事業説明 |
|-----|-------------------|---|
| 総務部 | 「職場における喫煙対策」の推進 | <p>労働安全衛生法第68条の2に基づき、非喫煙者への受動喫煙を防止するための労働安全衛生上講ずるべき対策を示すとともに、あわせて喫煙者に対し禁煙支援をおこなうことで、職場における職員の健康確保や安全で快適な職場環境を形成することを目的に、令和2年2月に総務部長（統括安全衛生管理責任者）名にて対策を決定。</p> <p>本庁・出先機関のすべてにおいて原則敷地内禁煙とするが、喫煙場所を庁舎外に指定する場合の条件を設置した。</p> <p>また、喫煙した職員は、呼気中に含まれる有害物質や臭い等に鑑み、喫煙後45分間はエレベーターや公用車の利用を避けるよう努めるものとし、表示をおこなった。</p> |
| 環境部 | 自然公園施設整備事業費（単独事業） | <p>平成30年度に県内全ての県立自然公園の施設調査を実施し、平成30年度から令和元年度にかけ計画書を随時策定。調査結果（重要度や緊急度の判定等）により整備年次計画を作成し、令和3年度より改築工事に着手している。</p> <p>なお、県立自然公園については、交付金対象事業となっていないため、県単独費にて事業を実施。</p> <p>○令和3年度事業概要</p> <p>実施箇所：伊良部県立自然公園国仲休憩所（宮古島市下地島地内）</p> <p>事業概要：木道修繕工事 L=180m</p> <p>事業費：29,209千円</p> |

| 部局名 | 取組・事業名 | 取組・事業説明 |
|-----------|---|--|
| 保健医療部 | 「沖縄県の働き盛り世代に係る健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定」の締結 | <p>令和3年3月18日に沖縄県、沖縄労働局、沖縄県医師会、全国健康保険協会沖縄支部、沖縄産業保健総合支援センターの5者により「沖縄県の働き盛り世代に係る健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定」を締結した。</p> <p>沖縄県における事業場の健康経営や健康づくりの普及・促進を通じて働き盛り世代の健康課題を解決することで、健康長寿おきなわの復活に貢献し、2040年までに平均寿命男女とも日本一を達成することを目的として、以下の項目について連携・協力して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康経営の普及・促進に関すること ・定期健康診断における有所見率の改善に関すること ・従業員及び家族の健康診断及びがん検診受診、保健指導利用の促進に関すること ・適切な血圧を管理する地域職場づくり ・事業場からの定期健康診断データの保険者への提供に関すること ・「うちなー健康経営宣言」への登録勸奨に関すること ・施策を検討していくための健康診断データ等の分析結果の共有に関すること ・健康診断データ等に基づく働き盛り世代の健康課題の抽出及び改善に向けた取組みの検討、実施に関すること ・上記に関する周知啓発に関すること ・その他、目的を達成するために必要な事項に関すること |
| 文化観光スポーツ部 | 沖縄食文化次期計画策定実態調査・保存普及継承事業 | <p>当該事業では、平成29年度に策定した「沖縄の伝統的な食文化の普及推進計画（沖縄創生プロジェクト）」（以下「普及推進計画」）に基づき、伝統的な食文化の担い手となる人材の育成（琉球料理传承人）やWebサイトの制作など、伝統的な食文化の情報発信を実施している。</p> <p>現行の普及推進計画が令和3年度に終了することから、沖縄の伝統的な食文化を食育等様々な取組と連携して保存・普及・継承するため、新たに令和4年度から令和8年度までを期間とする第2期計画の素案を令和2年度に作成した。</p> <p>令和3年度事業では、第2期計画の策定にあたり、沖縄の伝統的な食文化に関する県民意識調査を実施する。平成29年度に実施した前回の県民意識調査との結果を比較し第1期計画における総括を行うとともに、第2期計画において、伝統的な食文化に関する認知度等の県民指標や琉球料理传承人の活動に関する指標など具体的な目標値を新たに設定したうえで、第2期計画を策定する。</p> |

健康長寿おきなわ復活推進本部設置要綱

(目的)

第1条 健康は、県民一人一人が豊かな人生を送るための基盤であり、県民すべての願いです。国が公表した平成22年の都道府県別生命表で、沖縄県の平均寿命は、男女とも平成17年の平均寿命より延伸したが、全国順位では、男性が平成17年の25位から30位へ、女性は1位から3位へ順位を下げ、厳しい結果となっている。

21世紀ビジョン基本計画に掲げている「健康・長寿おきなわ」の維持継承を図り、男女とも平均寿命日本一復活を目指して、県民の健康づくりに関する総合的な施策の推進を図るため、健康長寿おきなわ復活推進本部（以下、「推進本部」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 推進本部の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 県民の健康づくりに関する施策の推進、連携及び調整に関すること。
- (2) その他県民の健康づくりの推進に必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 推進本部は本部長、副本部長及び本部員で組織する。

- 2 本部長は、知事をもって充てる。
- 3 副本部長は副知事をもって充てる。
- 4 本部員は「別表第1」に掲げる職にある者をもって充てる。

(本部長及び副本部長)

第4条 本部長は、推進本部を総括する。

- 2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故あるときは、又は本部長が欠けたときは、その職務を代理する。この場合において、職務代理の順位は、保健医療部を担当する副知事を第1順位とする。

(会議)

第5条 推進本部の会議は、本部長が必要に応じて召集し、本部長が議長となる。

- 2 本部長は、必要に応じて関係者に推進本部の会議への出席を求めることができる。

(幹事会)

第6条 推進本部の円滑な運営を図るため、幹事会を置く。

- 2 幹事会は、会長、副会長及び幹事で組織する。
- 3 会長は、保健衛生統括監をもって充て、副会長は、健康長寿課長をもって充てる。
- 4 幹事は「別表第2」に掲げる職にある者をもって充てる。
- 5 会長は、幹事会を総括する。
- 6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、又は会長が欠けたときはその職務を代理する。
- 7 幹事会の会議は、会長が必要に応じて召集し、会長が議長となる。
- 8 会長は、必要に応じて関係者に幹事会の会議への出席を求めることができる。

(作業部会)

- 第7条 幹事会に、必要に応じ、作業部会を置くことができる。
- 2 作業部会は、幹事会に付議する事項について調査審議する。
 - 3 作業部会は、部会長及び部会員で組織する。
 - 4 部会長は、幹事長が指名する者をもって充てる。
 - 5 部会員は部会長が指名する者をもって充てる。
 - 6 作業部会の運営に関し必要な事項は、幹事長が別途定める。

(庶務)

第8条 推進本部の庶務は、健康長寿課において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、推進本部の運営に関し必要な事項は、本部長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成25年7月31日から施行する。
- 2 この要綱は、平成26年6月24日から施行する。
- 3 この要綱は、平成28年4月26日から施行する。
- 4 この要綱は、平成29年4月1日から施行する。
- 5 この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

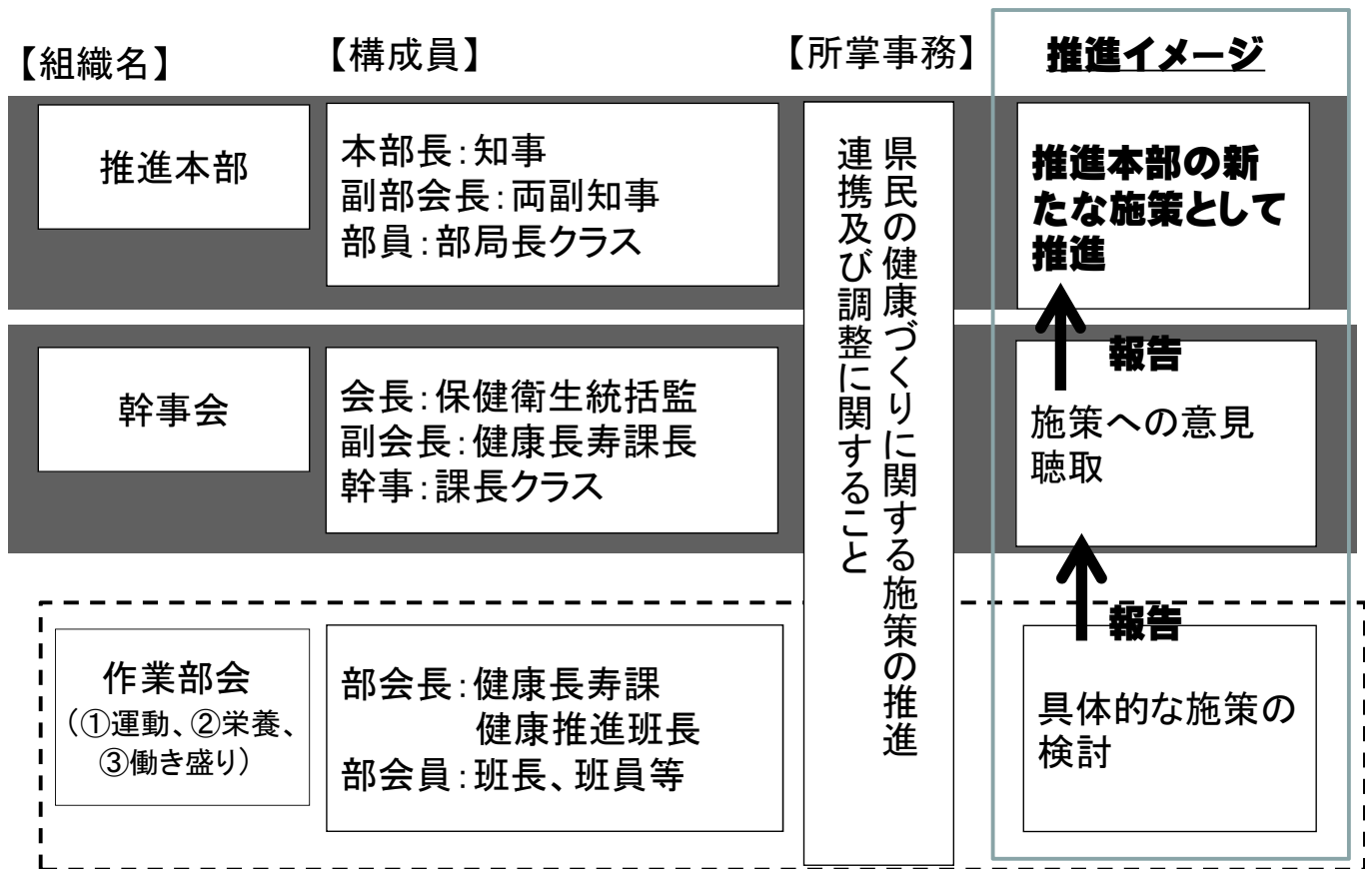
別表第1（第3条関係）

| |
|---|
| 知事公室長 総務部長 企画部長 環境部長 子ども生活福祉部長 保健医療部長 農林水産部長 商工労働部長 文化観光スポーツ部長 土木建築部長 教育長 |
|---|

別表第2（第6条関係）

| | |
|--|--|
| <p>(知事公室) 広報課長</p> <p>(総務部) 総務私学課長 職員厚生課長</p> <p>(企画部) 企画調整課長 交通政策課長</p> <p>(環境部) 環境政策課長</p> <p>(子ども生活福祉部) 福祉政策課長 高齢者福祉介護課長 青少年・子ども家庭課長 子育て支援課長 消費・暮らし安全課長 女性力・平和推進課長</p> <p>(保健医療部) 保健医療総務課長 医療政策課長 衛生薬務課長 国民健康保険課長 地域保健課長</p> | <p>(農林水産部) 農林水産総務課長 園芸振興課長 糖業農産課長 水産課長 流通・加工推進課長 畜産課長 森林管理課長</p> <p>(商工労働部) 産業政策課長 労働政策課長</p> <p>(文化観光スポーツ部) 観光政策課長 スポーツ振興課長</p> <p>(土木建築部) 土木総務課長 道路街路課長 道路管理課長 都市計画・モノレール課長 都市公園課長</p> <p>(教育庁) 総務課長 保健体育課長 義務教育課長 生涯学習振興課長</p> |
|--|--|

健康長寿おきなわ復活推進本部会議 関係図



これまでの経緯

経緯

H25.2 **330ショック!** H22年平均寿命の都道府県順位【男性25位→30位、女性1位→3位】

要因：働き盛りの世代(20歳から64歳)の死亡率が高い

健康長寿世界一復活プロジェクト始動!

目標：2040年までに男女とも平均寿命第1位、2020年までに死亡率を10%減少

目標達成に向けて、官民一体となった県民運動、県庁内で横断的施策の推進

H25.9 **健康長寿おきなわ復活推進本部**を設置! (構成：知事、両副知事、各部局長)

H26.4 **健康長寿おきなわ復活県民会議**を設置! (構成：知事、経済団体など71団体)
県民行動指針、県民宣言を作成

H26.5 キックオフイベント「とりもどそう! 健康長寿おきなわ」を開催

H26.7 予算編成方針 **「健康長寿復活おきなわの復活」**が重点テーマ化

H26.7 健康長寿おきなわ復活推進本部において、ロードマップ(行程表)作成を表明
ロードマップの骨子等を検討、庁内、県民会議等へ意見照会、構成等の見直し
推進主体別によるロードマップの方向性を確認

H28.4 『健康長寿おきなわ復活に向けたロードマップ』による指標チェック開始

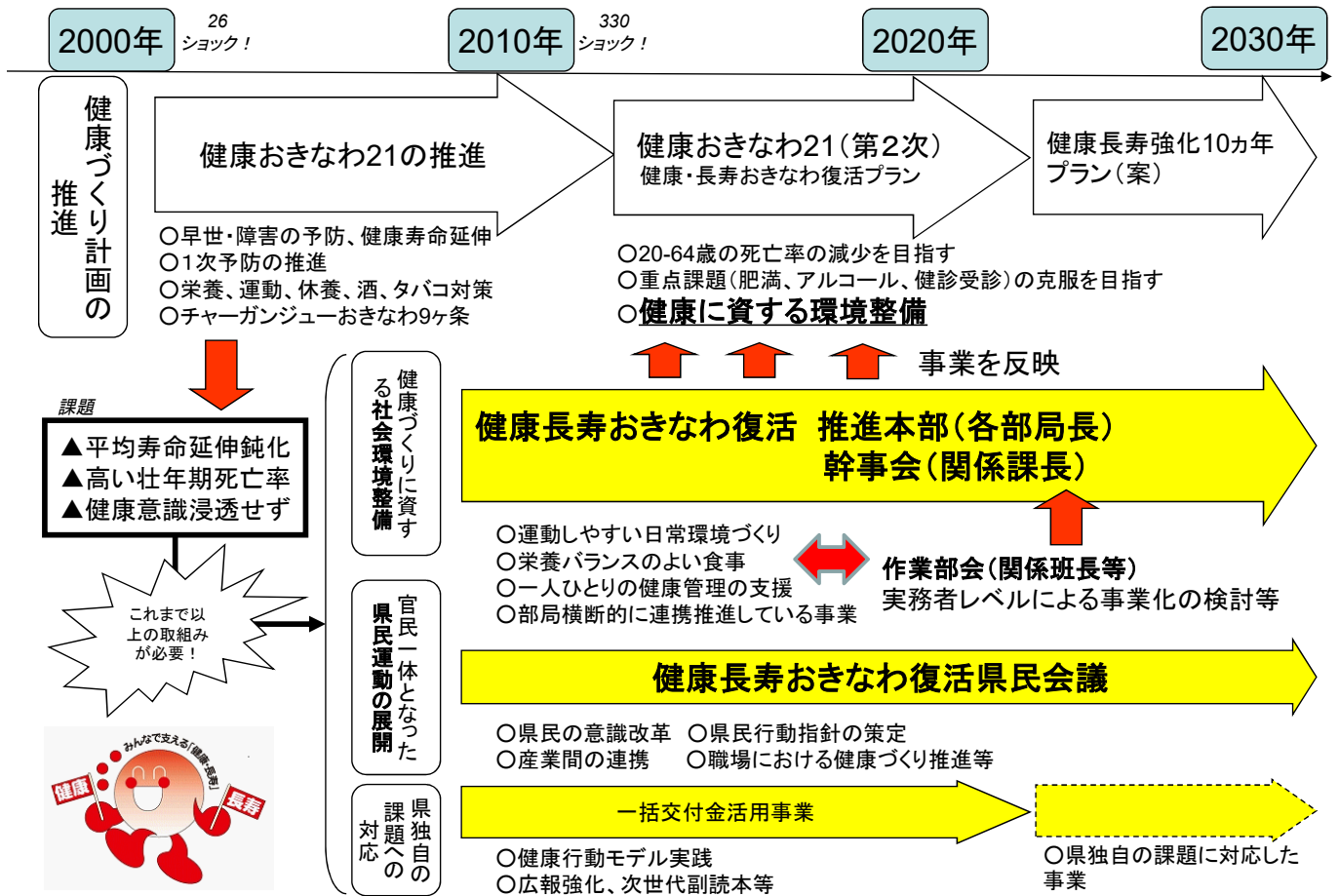
○保健医療部版(健康長寿おきなわ復活プランの推進)

◎**県推進本部版(住民の健康づくりに資する社会環境整備)**

○県民会議版(官民一体となった健康づくり取組)

至 現在

健康長寿世界一復活プロジェクトの構成



ロードマップの全体構成

2015年

2022年

◎健康長寿おきなわ復活プラン(健康おきなわ21の推進)

- 健康おきなわ21の各分野の推進
(食生活・運動、休養 ころこ、飲酒、タバコ、歯・口腔の健康、生活習慣病・がん)

◎県推進本部(健康づくりに資する社会環境整備)

- 運動しやすい日常環境づくり
 - 栄養バランスのよい食事
 - 一人ひとりの健康管理の支援
- 県民が健康づくりに取り組みやすい社会環境の整備

◎県民会議(官民一体となった健康づくりの取り組み)

- がん検診の啓発、検診や精査を受けやすい環境整備
 - 適正飲酒の推進
 - 肥満の解消(栄養バランスのよい食事、身体活動量増加)
- ・各団体の取り組みの活性化
 - ・連携を強化し各団体の強みを生かした取り組み
- ※指標は健康おきなわ21

指標をチェックし対策を見直す